

### 3. 広報活動など

#### 3.1 地元イベントへの参加:おもしろ科学館 in 瑞浪

今年度の開催はコロナ禍のためにオンライン動画となった(図4.1)。東濃地震科学研究所は受託業者の依頼で3つの短編動画をYouTubeに公開することとなった。当方からベースとなる自作動画とそれについての解説資料を提供して、それらを元に映像コンテンツ作成会社が動画を作成した。作成した動画のタイトルは「活断層と地震」、「震源断層サイズと地震エネルギー」、「振り子で地下を探る」とした。いずれも、過去のおもしろ科学館や夏休み科学イベントの内容を再構成したものであるが、ベースの自作動画にはバーチャルプレゼンテーションソフト mmhmm (シーファー) を使用し子供の興味を引くような工夫を行った。



図 4.1 公式ウェブサイトの東濃地震科学研究所のページ  
([https://omoshiro-mizunami.meti.go.jp/tono\\_laboratory/](https://omoshiro-mizunami.meti.go.jp/tono_laboratory/))